



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,035	3.9	96	△2.6	105	6.3	74	35.4
28年9月期第1四半期	996	△5.8	99	5.4	99	2.4	54	1.8

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 121百万円(168.9%) 28年9月期第1四半期 45百万円(△45.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	14.27	—
28年9月期第1四半期	10.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	5,395	4,418	81.7
28年9月期	5,469	4,399	80.2

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 4,407百万円 28年9月期 4,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日~平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,250	0.3	340	1.7	330	3.7	200	13.3	38.49
通期	4,400	0.3	560	0.9	550	10.7	330	31.7	63.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、当第1四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	5,255,000株	28年9月期	5,255,000株
29年9月期1Q	72,643株	28年9月期	35,443株
29年9月期1Q	5,209,075株	28年9月期1Q	5,219,597株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、一部に改善の遅れが見られるものの緩やかな景気回復基調が続いてまいりましたが、一方で海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となってまいりました。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高については前年同四半期（平成27年10月1日～平成27年12月31日）と比べ増加傾向となりました。また、個人のインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加傾向にあります。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースmartフォンの普及）に加え、IoTの進展や人工知能技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成28年10月には月間約2億900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第1四半期連結累計期間においては約1,000万人となっております、多くの方々にご利用いただいております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,035,525千円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は96,554千円（前年同四半期比2.6%減）、経常利益は105,480千円（前年同四半期比6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,310千円（前年同四半期比35.4%増）という経営成績となりました。

売上高につきましては、主に乗換案内事業セグメントの売上高の増加により、全体でも前年同四半期と比べ増加いたしました。利益につきましては、全社費用の削減の一方で乗換案内事業セグメントの利益が減少したこと等により、営業利益は前年同四半期と比べ若干の減少となりました。経常利益は、受取配当金及び為替差益の増加等により増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益の発生や投資有価証券評価損の減少等があり、大幅に増加いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、法人向けの事業における受注・納品等が順調に推移し、その売上高が前年同四半期と比べ増加いたしました。また、広告等についても、特に「乗換案内」のスマートフォンアプリにおける広告の販売が増加し、売上高が前年同四半期と比べ増加いたしました。一方で利益面では、今後の展開を見据えた人員の増加等の影響もあり、前年同四半期と比べ減少いたしました。

それらの結果、乗換案内事業全体としては売上高988,690千円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益169,158千円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、売上高は前年同四半期と比べやや減少いたしました。一方で、費用の削減及び見直し等を進めた結果、前年同四半期と比べ利益面では改善いたしました。

それらの結果、売上高16,059千円（前年同四半期比33.2%減）、セグメント損失2,604千円（前年同四半期は6,394千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、前年同四半期と比べ売上高は増加いたしました。一方で、前年同四半期と比べ費用も増加しており、損失は若干拡大する結果となりました。

それらの結果、売上高33,542千円（前年同四半期比41.7%増）、セグメント損失3,265千円（前年同四半期は102千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成28年9月末）と比較しますと、資産は73,848千円減の5,395,334千円、負債は92,701千円減の976,736千円、純資産は18,852千円増の4,418,598千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、105,337千円減の4,221,523千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が22,057千円減の551,094千円、前渡金が19,168千円減の230,612千円、繰延税金資産が18,221千円減の32,676千円、その他の流動資産が31,678千円減の97,228千円となったこと等によるものです。受取手形及び売掛金の減少は、主に季節的な傾向によるものです。前渡金の減少は、旅行関連の仕入に係る前渡金が減少していること等によるものです。繰延税金資産の減少は、賞与引当金や未払事業税等の減少等によるものです。その他の流動資産の減少は、前払費用や短期貸付金の減少等によるものです。

固定資産につきましては、31,488千円増の1,173,811千円となりました。これは、有形固定資産が30,009千円増の266,483千円、無形固定資産が5,634千円減の122,968千円、投資その他の資産が7,113千円増の784,359千円となったことによるものです。有形固定資産の増加は、設備更新等のための工具、器具及び備品の取得、為替変動の影響等によるものです。無形固定資産は、主に償却が進んでいることにより、やや減少いたしました。投資その他の資産は、持分法適用関連会社に対する持分相当額の増加等があり、全体としてやや増加いたしました。

負債は、流動負債につきましては、97,033千円減の962,636千円となりました。これは、未払法人税等が114,976千円減の30,673千円、賞与引当金が38,523千円減の27,537千円となった影響が、その他の流動負債が52,723千円増の75,486千円となった影響を上回ったこと等によるものです。未払法人税等の減少は、主に法人税等の支払によるものです。賞与引当金の減少は、主に賞与の支払によるものです。その他の流動負債の増加は、配当金や賞与に係る源泉所得税や社会保険料の本人負担分の預り金の発生や、有形固定資産の取得に係る未払金の増加等によるものです。

固定負債につきましては、4,332千円増の14,100千円となりました。これは、繰延税金負債が4,257千円増の6,194千円となったこと等によるものです。繰延税金負債の増加は主に、その他有価証券の時価の増加によるものです。

純資産は、株主資本が23,461千円減の4,327,295千円、その他の包括利益累計額が46,834千円増の80,652千円、非支配株主持分が4,521千円減の10,650千円となりました。株主資本の減少は、自己株式の市場買付を行い、自己株式が29,919千円増の47,360千円となったこと等によるものです。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が20,967千円増の39,608千円、為替換算調整勘定が25,866千円増の41,043千円となったことによるものです。非支配株主持分の減少は、主に連結子会社の株式の追加取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,528	3,307,872
受取手形及び売掛金	573,151	551,094
商品及び製品	6,849	4,518
仕掛品	7,716	9,038
原材料及び貯蔵品	237	76
前渡金	249,781	230,612
繰延税金資産	50,897	32,676
その他	128,906	97,228
貸倒引当金	△11,206	△11,593
流動資産合計	4,326,861	4,221,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,615	58,778
機械装置及び運搬具（純額）	5,131	3,635
工具、器具及び備品（純額）	89,779	115,022
土地	83,947	89,046
有形固定資産合計	236,473	266,483
無形固定資産		
のれん	5,877	4,898
ソフトウェア	119,832	112,797
その他	2,893	5,273
無形固定資産合計	128,603	122,968
投資その他の資産		
投資有価証券	527,563	537,048
敷金及び保証金	226,722	226,675
その他	35,985	33,661
貸倒引当金	△13,025	△13,025
投資その他の資産合計	777,245	784,359
固定資産合計	1,142,322	1,173,811
資産合計	5,469,183	5,395,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	169,675	178,923
未払費用	64,860	68,075
未払法人税等	145,650	30,673
未払消費税等	33,340	29,963
前受金	540,500	543,280
賞与引当金	66,060	27,537
役員賞与引当金	5,000	1,250
返品調整引当金	6,947	4,272
ポイント引当金	3,038	3,133
受注損失引当金	1,834	41
その他	22,763	75,486
流動負債合計	1,059,669	962,636
固定負債		
ポイント引当金	2,431	2,506
繰延税金負債	1,936	6,194
その他	5,400	5,400
固定負債合計	9,767	14,100
負債合計	1,069,437	976,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,291
利益剰余金	3,803,532	3,809,989
自己株式	△17,440	△47,360
株主資本合計	4,350,756	4,327,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,640	39,608
為替換算調整勘定	15,177	41,043
その他の包括利益累計額合計	33,817	80,652
非支配株主持分	15,171	10,650
純資産合計	4,399,746	4,418,598
負債純資産合計	5,469,183	5,395,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	996,235	1,035,525
売上原価	552,318	585,530
売上総利益	443,916	449,995
返品調整引当金戻入額	6,815	6,947
返品調整引当金繰入額	6,643	4,272
差引売上総利益	444,088	452,670
販売費及び一般管理費	344,933	356,116
営業利益	99,155	96,554
営業外収益		
受取利息	63	161
受取配当金	896	5,896
為替差益	197	9,960
受取事務手数料	1,488	1,512
雑収入	1,035	616
営業外収益合計	3,681	18,147
営業外費用		
持分法による投資損失	3,603	9,000
雑損失	26	221
営業外費用合計	3,630	9,221
経常利益	99,205	105,480
特別利益		
固定資産売却益	-	479
投資有価証券売却益	-	9,500
特別利益合計	-	9,979
特別損失		
子会社株式評価損	-	344
投資有価証券評価損	10,000	-
特別損失合計	10,000	344
税金等調整前四半期純利益	89,205	115,114
法人税等合計	34,555	40,841
四半期純利益	54,650	74,272
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△240	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,890	74,310

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	54,650	74,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,394	8,159
為替換算調整勘定	901	20,457
持分法適用会社に対する持分相当額	△121	18,217
その他の包括利益合計	△9,613	46,834
四半期包括利益	45,036	121,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,276	121,145
非支配株主に係る四半期包括利益	△240	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	953,352	24,057	977,410	18,825	—	996,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,842	△4,842	—
計	953,352	24,057	977,410	23,667	△4,842	996,235
セグメント利益 又は損失(△)	186,145	△6,394	179,750	△102	△80,492	99,155

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,492千円には、のれん償却額△979千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,513千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	988,317	16,059	1,004,376	31,149	—	1,035,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	373	—	373	2,393	△2,766	—
計	988,690	16,059	1,004,749	33,542	△2,766	1,035,525
セグメント利益 又は損失(△)	169,158	△2,604	166,553	△3,265	△66,734	96,554

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△66,734千円には、のれん償却額△979千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,754千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。